

令和6年6月

各 位

一般社団法人 農業開発研修センター  
会 長 理 事 増 田 佳 昭  
[公 印 省 略]

## 令和6年度（通算第48回）地域農業振興に関する研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とJAの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、事例に学びながら地域の活性化を実現させるために農業はいかに貢献できるか、そのためにJAおよび地方自治体の果たすべき役割は何か、に焦点を当て、企画・開催します。

本研究会では、コロナ禍のもとでリモート方式と併せたハイブリッド方式を採用していましたが、当センター主催の研究会における当初の目的である、参加者間の交流を深めるために、今年度から対面方式による開催とします。併せて懇談会についても開催する予定としております。

本研究会の対象として、貴団体・機関の関係者、特に地方自治体をはじめ、単協、都道府県中央会・連合会・県本部、全国連の役員及び職員（管理職）、なかでも営農企画担当役員の方々を想定しております。業務ご多忙の折とは存じますが、ご参加につき格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。また、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、関係部署・担当者の方にお渡しいただければ幸いです。

敬 具

令和6年度（通算第48回）

# 地域農業振興に関する研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

## 〈趣 旨〉

本年4月、人口戦略会議が衝撃的な「令和6年・地方自治体『持続可能性』分析レポート」を発表し、その結果が一般紙でも大きく取り上げられ、地方からの人口流出が改めて注目されています。地域社会の持続と活性化には地域農業の再構築による雇用創出・確保が不可欠です。地域の重要な産業である農業への期待も大きいものがあります。

本研究会では、地域の活性化を実現させるために農業はいかに貢献できるか、そのためにJAおよび地方自治体の果たすべき役割は何か、事例に学びながら徹底討論します。

期 間：令和6年8月8日(木)～9日(金)

会 場：京都JAビル 201・202会議室（アクセス参照）

定 員：50名程度

昼 食：

9日(金)に弁当（1,188円（税込））を準備します。参加申込書からお申し込みください。

参加費：（税込・一人当たり）

会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	29,700円<26,400円>
非 会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	44,000円<40,700円>
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和6・7年度の会友会費10,000円を含む）	34,700円

注1：会員は、会員所属者および令和5年度以前からの会友（個人会員）の金額です。

注2：令和5年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

## 懇談会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。開催する場合は、参加希望者に改めてお知らせします。なお、懇談会費は当日にお支払いいただきます。

＜開催予定日時＞

と き：8月8日(木) 17：30～（2時間程度）

懇談会費：5,500円から6,500円（消費税込）程度を想定しております。

## 申込方法：

- ①5ページの参加申込書をファックスで送信してください。
- ②受付完了通知をメールまたはファックスで送信しますので、参加費（昼食代）を送金してください。なお、振込手数料はご負担ください。

＜振込先＞

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター  
（シャ） ノウギョウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：8月1日(木)17：00

当開催要領は、ホームページ (<https://agridtc.or.jp/nittei.html>) に掲載しています。

## キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

- ・8月1日(木) 17：00まで …… 10,000円
- ・8月1日(木) 17：00以降 …… 全額

## 問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：JR京都駅（八条口）より徒歩5分



(QRコードもご参照ください)



日 程 :

《第1日目》 8月8日(木)

13:30～13:50 開会あいさつ・オリエンテーション

一般社団法人長野県農協地域開発機構 研究所長  
岡山大学名誉教授

小松 泰信 氏  
(岡山大学名誉教授)

13:50～15:10 報告Ⅰ 持続可能な地域づくりに果たす自治体・JAの役割

(うち質疑応答約10分)

京都橘大学 経済学部

教授 岡田 知弘 氏

(京都大学名誉教授)

- 専門は地域経済学、農業経済学。主な著書に『デジタル化と地方自治』『私たちの地方自治』『地域づくりの経済学入門 増補改訂版』『公共サービスの産業化と地方自治』(共に自治体研究社)
- 増田レポート「自治体消滅」論は何が問題なのか  
ーわが国の「地方創生」が抱える課題の深層を探るー
- 持続可能な地域づくりのあり方を考える  
ー中山間地と自治体の可能性と果たす役割とはー

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ 「農」で地域を元気にする

(うち質疑応答約10分)

ー自治体・JAへの期待と注文ー

明治大学 農学部

客員教授

榊 田 みどり 氏

農業ジャーナリスト

- 専門は農業・食・環境問題。産消提携、食・農を軸にした地域づくりおよび食育等。主な著書に『農村女性と再生可能エネルギー』『再生可能エネルギーー農村における生産・活用の可能性をさぐる』(筑波書房)、『農的暮らしをはじめの本』(農文教)等多数
- 地域の女性・高齢者が元気に活躍するためにJA・自治体ができること
- 地域を元気にするためにJA・自治体に何を求めるのかー全国の生き生きした事例から何を学ぶかー

17:30～19:30 懇談会(予定)

《第2日目》 8月9日(金)

シンポジウム「地域農業振興・活性化で果たすべき自治体・JAの役割

ーこれからの機能発揮と連携のあり方をめぐってー

9:30～ 9:50 座長解題

一般社団法人長野県農協地域開発機構研究所長

小松 泰信 氏

(岡山大学名誉教授)

<座長解題>

- シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
- 2つの実践報告の関連と意味付け
- 議論したい論点  
例えば ・農業関係団体等の連携による多様な担い手育成・支援策  
・地域の特色を活かした振興・活性化対策 等

9:50～10:50 **実践報告① わがJAの地域農業の振興・活性化の取り組み**  
—創意的な農業振興で地域の活性化をめざして—

茨城県 常陸農業協同組合 代表理事組合長 秋山 豊氏

- 平成26年に誕生した8市2町（一部除く）1村（東海村）を管内とするJA。組合員総数51,855名（うち、正組合員30,096名、貯金3,254億円、貸出金676億円、長期共済保有高7,403億円、販売品販売高94億円、購買品供給高53億円（令和5年度末実績）。日本の種子を守る会会長、全国オーガニック給食協議会副代表理事
- 全国一の生産量を誇る干しいもを活用した加工品の開発・商品化と全農と連携した加工品輸出の取り組み
- 中山間地の冷涼な気候を活かしたハスの栽培など新たな収入源確保策の提案による農家所得向上への取り組み

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 **実践報告② わが地域の地域農業の振興・活性化の取り組み**  
—連携による人材確保・育成・定着をめざして—

公益財団法人農林業公社しんしろ 理事 河合勝正氏  
愛知県 新城市農業委員会 会長  
元愛知東農業協同組合 代表理事組合長

- 新城市（旧新城市・鳳来町・作手村）は、愛知県東三河の中央に位置し、平場の新城地域から標高約550mの作手地域を含む中山間地域
- 新城市をはじめ、北設楽郡の設楽町、東栄町、豊根村、さらに各市町村の農業委員会やJA愛知東、愛知県等の関係機関が役割分担を図り、市内外から新規就農希望者を受入れから研修・就農定着まで、きめ細かな伴走支援を実施
- 周年ほうれんそう、夏秋トマト、いちごを奨励作物とし、自立できる経営モデルを提案

12:00～13:00 昼食

13:00～14:10 **討 論**  
(座長) 前掲 小松 泰信氏  
(コメンテーター) 京都府農林水産部 農産課 参事 浅野 智士氏  
龍谷大学農学部 准教授 山口 道利氏

14:10～14:40 休憩

14:40～16:00 **報告Ⅲ わが国農業の基本課題と今後の展望**  
(うち質疑応答約10分) —基本法見直しで欠けていたものは何か—

東京大学名誉教授 谷口 信和氏

- 専門は農業経済学。主な著書に『基本法見直しは日本農業再生の救世主たりうるか』『食料安保とみどり戦略を組み込んだ基本法改正へ』（筑波書房）、『日本農政の基本方向をめぐる論争点』（農林統計協会）
- 改正「食料・農業・農村基本法」の方向性をどうみるか—基本法見直しにおける農業政策の批判的検討—
- 今回の改正基本法は食料安全保障の担保についてどうとらえているか

16:00～16:10 **閉会あいさつ** 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝  
(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター 行き  
〈FAX : 075-748-0855〉

令和6年度（通算第48回）地域農業振興に関する研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名） <sup>ふりがな</sup>（お名前）

部課・役職名	<sup>ふりがな</sup> 参加者氏名	会友同時加入 (希望者は○)	昼食(弁当) (希望者は○)	懇談会 (希望者は○)
〈記入例〉 総務・企画課長	<sup>けんしゅう たろう</sup> 研修太郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送金状況〉

- 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）
- 振込（予定）日 …… 月 日

注1）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。  
《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》  
2）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センター研究会年間予約コース申込書

- ※1：ご希望されるコースに○印をお願いします。
- ※2：詳細は本要領に掲載しております案内パンフレットをご覧ください。

受講コース	1. 1名コース	2. 2名コース
-------	----------	----------



## 農業開発研修センター研究会 年間予約コースのご案内

—“人づくり”が重要な今、  
役職員の年間研修計画にご活用ください—

### 【本サービスの概要と参加者のメリット】

- ・当センター主催の研究会（7回分）について、毎回1団体につき、1名から2名の参加が可能な受講パッケージです。
- ・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能です。
- ・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能です。

### 【対象】

- ・当センター会員

### 【参加費（消費税等込）】

- ・1名コース：250,000円
- ・2名コース：380,000円

### 【締切】

- ・7月10日（水）

2024年7月17日より開催する「農協問題  
総合研究会」を皮切りに研究会スタート

- 【場 所】 京都JAビル 地下2階会議室（京都市南区東九条西山王町1）  
【その他】 お申し込みや参加費についてご不明な点がございましたら、  
下記および裏面の連絡先までお問い合わせください。  
【お申し込み・お問い合わせ先】 [info@agridtc.or.jp](mailto:info@agridtc.or.jp)

# 令和6年度農業開発研修センター研究会開催予定一覧

## 一般社団法人農業開発研修センター

7月

### 農協問題総合研究会(通算第53回)

【時期・期間】7/17(水)~19(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(組合長・理事長、専務など)、企画担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のJ A運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月

### 地域農業振興に関する研究会(通算第48回)

【時期・期間】8/8(木)~9(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:29,700円 非会員:44,000円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月

### 農産物流通研究会(通算第55回)

【時期・期間】9/12(木)~13(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。

10月

### J A 共済総合研究会(通算第31回)

【時期・期間】10/23(水)~25(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(共済担当役員など)、共済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A運動とJ A経営の双方の視点からJ A共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月

### J Aの組織基盤強化に関する特別研究会

【時期・期間】11/14(木)~15(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマを設定し、そのテーマに特化した企画内容に力点を置き、実践報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

1月

### J A 金融問題研究会(通算第43回)

【時期・期間】1/16(木)~17(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(信用担当役員など)、信用担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

J A金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにJ A金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

2月

### J Aの営農事業改革に関する研究会(通算第3回)

【時期・期間】2/6(木)~7(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)  
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)  
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

地域農業振興・活性化の課題(地域農業振興計画の策定・実践を含む)の解明とJ Aの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒601-8585

京都市南区東九条西山王町1 京都J Aビル内

一般社団法人農業開発研修センター

TEL:075-748-0703 FAX:075-748-0855

Mail:info@agridtc.or.jp

URL:https://agridtc.or.jp/